



透析だより

1・2月号

みなさん、こんにちは！！

CE 西尾です。

みなさんは腹膜透析という言葉を知っていますか？

まず、腎臓の機能が低下して腎臓病が進行し、腎不全の状態になると腎臓の働き
の代わりとなる治療が必要となります。

主にみなさんが行っている血液透析がそのひとつで、その他に腎臓移植などがあり
ます。

腎臓移植に関しては昨年 10 月に齋藤 Dr.が書いた透析だよりを参考にしてください。

今回は血液透析とは別で、主に自宅で行う腹膜透析（PD）というものを少しご紹介
します。

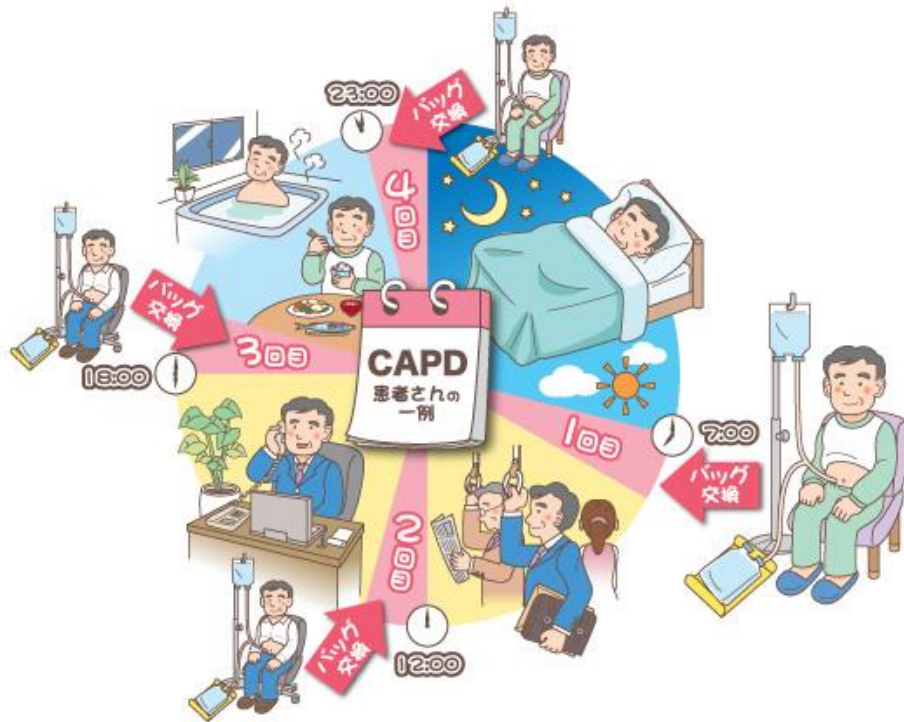
腹膜透析とは？

腹膜透析とは、自分の体の中の腹膜を利用して血液をきれいにする方法です。

- ・ APD・・・寝ている間に機械を使って自動的に数回交換を行う方法
- ・ CAPD・・・1日に約4回、1回に30分かけて透析液を交換する方法

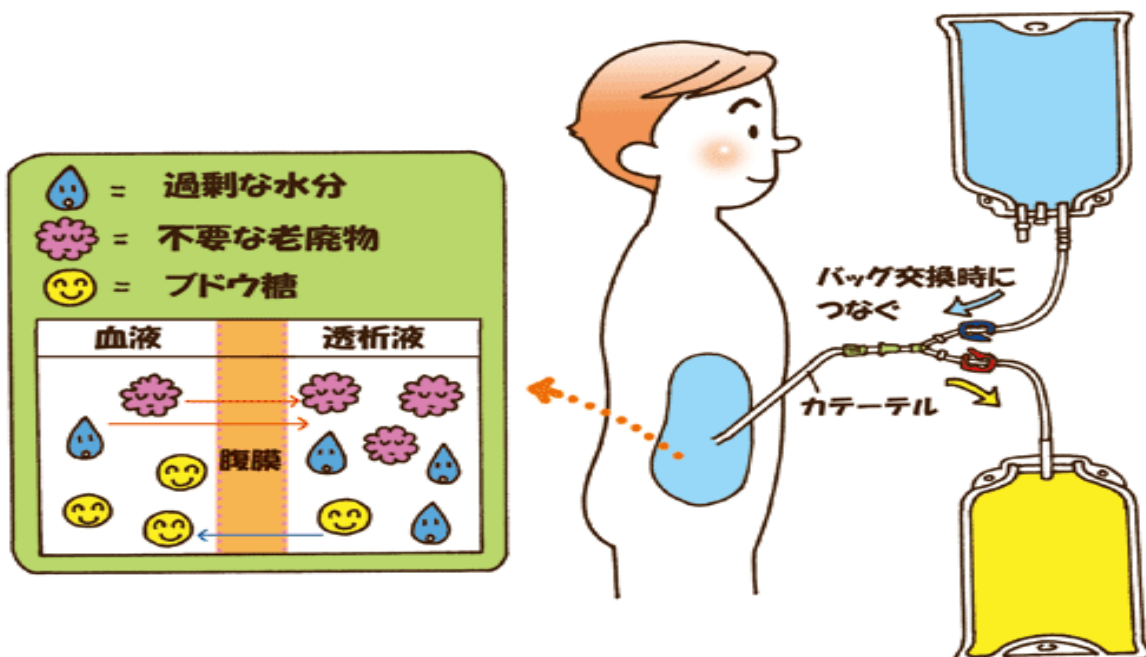


☆一日の流れのイメージ



腹膜透析のしくみとは？

お腹の中に、透析液を約2ℓ注入して、4～8時間程度ためておくと、体に不要な老廃物や余分な水分が、血液から腹膜を介して、透析液側に出てきます。その液を体の外に排液することで老廃物が除去されます。



腹膜透析の特徴とは？



- ・在宅で可能な治療です。
- ・体内の腹膜を使って、血液中の老廃物や余分な水分を除去します。
- ・毎日緩やかに透析を行え、体への負担が少ないです。
- ・通院は月 1～2 回程度です。
- ・自宅や職場など、生活スタイルにあわせた治療が行えます。
- ・治療は患者自身、家族で行えます。
- ・個人差はありますが、残っている腎臓の機能をより長く保つことができると言われています。
- ・カテーテルと呼ばれる透析液を交換するためのチューブをお腹に埋め込む手術が必要です。
- ・カテーテルが埋め込まれているため、炎症や感染などに注意が必要です。

腹膜透析の適応は？

- ・十分な自己管理能力（協力者がいる）があり、腹膜透析を強く希望している方
- ・尿はまだ十分出ているが腎不全のために新たに透析を開始しなければいけない方
- ・5年以内に腎移植の予定がある若年の方
- ・仕事や生活の理由で5-8年程度は血液透析のための通院が困難な方
- ・医学的理由で血液透析が困難な方（フラッドアクセス、心血管障害が強いなど）
- ・70才以上の高齢の方
- ・小児



腹膜透析は30万人を超える透析患者の約3%程度の方しか行っていません。

これはPDに関する十分かつ正確な説明、情報が腎不全の患者さんやご家族に伝わっていないことがあります。

また、大阪府には約240の血液透析ができる施設がありますが、腹膜透析ができる施設は約30しかありません。

腹膜も万能ではなく、個人差はありますが5~10年を目安に寿命とされています。

しかし、腹膜透析と血液透析を併用して行っていくことにより、それぞれのメリットを生かした治療ができると言われています。当院では腹膜透析に関して行っているわけではありませんが、こういった情報を提供することによりみなさんへ少しでもお役にたてたり、興味を持っていただけると幸いです。

CE 西尾 光司